



お きたむら Oh!元気通信



喜多村クリニック 2008年 第9号 ニュースレター

発行人 喜多村 邦弘

〒816-0935 大野城市錦町 4-3-8

TEL 581-6640

FAX 585-9612

URL <http://www.kitamura.or.jp>

編集長 井上 真澄

平成20年10月10日発行



屋下がい訪問診療へ行く・10月

～お互いに顔を知ってる「連携」がいい
ですね～

訪問診療で外にでると病院内では気づかない

季節の変化
を肌で感じる
ことができます。
今日は
「きんもくせい」の香りに、
秋になった
んだあと、
あらためておもいました。



訪問診療では患者さんに安心してご自宅で療
養生活を送っていただくために、さまざまな職種
の医療スタッフの皆さんとの連携が欠かせませ
ん。ヘルパー、ケアマネージャー、看護師、薬剤
師、理学療法士、管理栄養士、歯科医師などの
皆さんです。

私が訪問診療をさせていただいている、ある有
料老人ホームでは、訪問の度に施設の看護師、
薬剤師、ケアマネージャー、施設長などの皆さん
と患者さんお一人おひとりのご病状や生活上の
問題点などを話し合うカンファレンスを行っていま
す。

訪問診療をする医師にとって在宅医療を支える
他のスタッフからの情報は欠かせません。カンファ
レンスではまず、施設の看護師さんから、前回の

訪問から当日までの日々
の患者さんの詳しい経過
(全身状況、脈、血圧、体
温、体重、食事摂取、排
泄状況など)をの報告が
あります。



このような報告がなけれ
ば医師は訪問したその日の、診察したその場だけ
の情報しか得ることができません。特に認知症患
者の場合は問診をしても確かな情報を得ることが
難しく、短時間拝見しただけでは患者さんの生活
面での問題点などは把握できないため、施設スタ
ッフからの情報収集はとても大切です。

話し合いでは、病気に対する治療適応はどうか、患者さんご意向はどうか、生活の質(QOL)は
どうか、患者さんを支える周囲のスタッフや家族は
どうか(Jonsen らの4分割法)を頭に描きながら、
現在の問題点や薬の効果、診察の際に何を重点
的に診ればよい
のかなどを話し
合いチェックしま
す。



そして、いよいよ患者さんのお部屋(施設の中のご自宅)へスタッフの皆さんとお伺いします。部屋入口のネームプレートは施設スタッフの手作りの花を型取った切り絵で飾られています。患者さんと握手をし、和やかな雰囲気の中での診察です。病院の外来での限られた時間のあわただしい診察ではなく、**訪問診療ではその患者さんお一人だけの診察を時間をかけて行います。**壁には患者さん手作りのカレンダーが飾ってあります。

在宅医療に取り組んでおられる薬剤師の先生はまだ少ないと思います。現在ご一緒させていただいております、在宅医療に積極的に取り組んでおられる薬剤師の先生が実際にどのようななさっているのか、少しご紹介したいと思います。事前のカンファレンスのあと薬剤師の先生も医師の診察に同席されます。診察の際の所見を熱心に観察され、患者さんの訴えや症状にあわせてお薬の変更やあらたなお薬を医師へ提案されます。

医師から考えますと**自分の限られた知識での処方**でなく、**薬の専門家としての薬剤師の幅広い意見を聞くことができ**て患者さんによりよい薬を安全に**処方**できる、まさにチーム医療の利点だと実感します。



また、薬剤師の先生はお薬を調剤するだけでなく**お薬を施設やご自宅へお届けいただけます**(スゴイ!)。さらにそれにとどまらず、薬を間違いなく安全に、また飲み忘れなく服用していただくために、患者さんお一人おひとりの薬を特別に用意されたお薬ボックスに曜日ごと、朝・昼・夕・眠る前ごと、に分けて一つひとつ区分けしセットいただけます。



この薬の仕分け作業は薬剤師の先生が訪問されていない施設では看護師さんが、ご自宅ではご家族がやっておられる仕事だと思います。間違っは大変なのでとても気をを使うものです。薬剤師の先生が薬をセットいただけることで、看護師さんやご家族が薬を間違える不安から開放され、さらに薬をセットする時間が節約できとてもありがたいことだと思います。施設の方は、薬剤師さんの訪問をお願いされてはいかがでしょうか。薬の調剤だけではない在宅医療に取り組みされる薬剤師の先生の熱き想いが伝わってきます。

診察を終えると**必ず患者さんと握手をしてお別れ**します。今日、お別れの際に患者さんからこんなお言葉をいただきました。「先生がここに来て診察してもらえるので本当に安心です。」ありがとうございます、そのお言葉で、疲れがふぎとびます。

カンファレンスを重ねるにしたがって、一つわかったことがあります。当然ですがスタッフの皆さんとお互い顔見知りになり、職種を超えて話しやすくなりました。患者さんの病状の相談に限らず、在宅医療に関する熱き想いを気軽に話せる場となりました。

書類上の施設連携ではなく、**顔のみえる気軽に話せるスタッフ連携こそが、本当に機能する連携だと実感**しました。

PS、こんなカンファレンスは「サービス担当者会議」でずっと前からやってますよ。医師が忙しいと言って会議になかなか出てこないだけじゃないですか!と言われそうです。ごもっともです、もっともって医師が在宅へ出向く意識改革が必要です(笑)。

院長 喜多村 邦弘



デイサービス「はなみずき」で恒例の敬老会を実施しました！

9/18(木)、19(金)に恒例の敬老会を実施致しました。大野幼稚園の園児たち



が大勢来て下さり、楽しいおゆうぎや手遊び歌などで楽しませてくれました。もみじのようなちっちゃな手で肩を叩いてもらおうと、もうご利用者様は涙ポロポロでした。



1日目の「劉福君」二胡教室のお弟子さん3名による二胡の演奏もすばらしかったです。ほとんどの

の方が初めて耳にする不思議な音色を生演奏でタツプりと味わうことができました。

アレンジフラワーは手慣れた方も多く、お一人お一人が味のある作品に仕上げられました。記念写真がとても映えのあるものとなりました。



「はとの会」の催し物は日本舞踊、懐メロ、腹話術、フラダンスなど盛りだくさんで、とてもすばらしかったですね。おみやげの和菓子の箱は、スタッフの心尽くしの手作りのものを差し上げることができました。



喜多村クリニック 待合室の深海水はいかがですか？

待合室に設置している「深海水 1200」は、北九州市門司区白野江の地下 1200 m に貯えられた栄養豊富な深海水です。約2万年前に生息した海洋生物(五角海百合)の化石、“梅化石”(県指定天然記念物)から溶け出したカルシウムと、健康な体を維持するために必要な5大栄養素の一つであるミネラルを多量に含んでいます。診察をお待ちの患者様、お客様は無料でお飲みいただくことができますので、是非お試しください。



デイサービスのご利用者様の昼食は(株)マルコシさんに！

9月からデイサービスの昼食は(株)マルコシさんのお弁当に変わりました。お弁当と言っても、用意して下さっている保温器によってご飯もおかずも熱々ですし、お味噌汁もIHで保温していますので、あまりお弁当という感じがしないように思います。減塩食、糖尿食、高脂血症食、心臓食、さらにごはんはお粥や軟飯などのきめ細かい対応のサービスをしていただいております、大変好評です。



健康豆知識

ロコモティブシンドローム

「ロコモティブシンドローム」という聞き慣れない言葉をご存知ですか？恐らく最近話題になっている「メタリックシンドローム」のことならご存知の方も多いと思います。

「ロコモティブシンドローム」とは、骨・関節・筋肉・神経などの首から下の内臓を除いた部分が障害をおおてしまい、日常の活動に支障をきたし、要介護などに陥ってしまう危険性の高い状態のことを言います。



「メタリックシンドローム」とならんで、たぶんこれからこの言葉を耳にする機会が増えることになるでしょう。

運動器を衰えさせないことで寝たきりになるのを防いで、健康寿命を延ばそうと、日本でも2004年から日本整形外科学会が10月8日を「骨と関節の日」として啓蒙活動を行っているようです。

骨折が原因で寝たきりになってしまうことはよくあることです。ロコモ(略称)の主な構成要因は、骨粗鬆症、下肢の変形性関節症や関節炎、脊椎の変形や変性などによる神経障害などです。

ロコモの対策の一つとして、ダイナミック・フロンゴ療法という運動が効果的だそうです。一日3回、1分間片足立ちになるのです。転倒しては



いけないので、必ず机などの支えにつかまって行ってください。これを行うことで、股関節の骨密度が改善され、転倒時の骨折というリスクの軽減だけでなく、転倒も防止できるとのことです。

(井上)

10/15～ インフルエンザの予防接種がはじまります！

インフルエンザを軽く見では危険です！

毎年、数千人から数万人の方がインフルエンザが原因となって亡くなっています。高齢者の方や呼吸器疾患、循環器疾患、糖尿病などの基礎疾患をお持ちの方がインフルエンザに感染すると、入院が必要となったり、最悪の場合は死に至ることがあります。また、小児ではインフルエンザに合併して急性脳症が起こることがあり、死亡や後遺症など、深刻な問題になっています。当院では10/15より接種できますので、流行る前にぜひお越しを。



ティータイム



「あこがれのマドンナ・リリー」



甲男はつらいよ 寅次郎紅の花は寅さんシリーズの最後となった作品です。マドンナ役、浅丘ルリ子さんは、リリー役で二回も共演しています。彼女は、きまぐれでやんちゃな寅さんでも唯一「冗談じゃないよ」と言われるマドンナなのです。きしな体には似合わず、しんの強い所と愛情深い所が大好きです。

デイサービス 藤田 直美作

デイサービス 「はなみずき」

TEL 581-6590

1日定員20名 送迎、入浴、機能訓練、レク、趣味活動他

